

平成29年緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰受賞祝賀会

7月9日(日)、奈良ロイヤルホテルに於いて、開催しました祝賀会には、京都大学教授徳地直子様、奈良県くらし創造部景観・環境局次長西村昭浩様、奈良県女性センター所長坂野三輪子様、元奈良県立奈良高等学校長吉岡溥様などにご来臨賜りました。開会前、突然雷鳴が轟き、激しい通り雨に見舞われるという豪快な前触れがありました。

オープニングは、勇壮でリズムミカルなバチさばきの精華町のグループ「せい



か太鼓波布理(はふり)」の皆さんによる祝い太鼓が3曲、勇壮に演奏されました。アマチュアグループとは思えない素晴らしい技と迫力で大いに開会を盛り上げていただきました。

続いて会長が開会の挨拶。

「会創立15周年、ならやまプロジェクト10周年の節目の受賞は、偏えに奈良県ご当局や関係各位のご指導ご支援、そして、会員が心一つにした地道な活動の集大成であり、深く感謝します。受賞を契機として、三つの基本理念のもとに、より良い自然環境と歴史的風土を次世代に受け継ぐため、より一層努力していかなければ、と決意を新たにしています。自然と景観を守るだけでなく、夢を膨らませ、白熱の議論を交わしながら、『ならやまユートピア』構想の具現化の足掛りを作ることが、受賞に報いる一端ではと思います。受賞が明日からの活力の糧になることを期待します」と受賞の意義を強調しました。

次いで奈良県くらし創造部景観・環境局次長西村昭浩様から、ご来賓を代表してのご祝辞。

「この度の受賞は、奈良県にとっても、この上ない名誉だ。活動を始めて以来10年間、歴史的風土の景観形成整備に情熱を傾注していただき、日本の原風景である里山林を見事に復活させてもらった。素晴らしいロケーションを活用して、地域社会に対する貢献活動などにも勤しんでいただき感謝しています」との賞賛を受けました。



祝賀会の二本柱の一つ、記念講演では、京都大学フィールド科学教育研究センターの徳地直子教授を講師にお招きし、「里山の変化と竹林の特徴～天

王山での事例～」と題して、長岡京市西域の西山森林整備協議会での取組みを元にして、お話をしていただきました。

800haを占める森林の荒廃が進んでいることに問題意識を持ち、森林所有者だけでなく多様な主体が集まり、「つなげたいみどりの西山未来の子らへ」を合言葉に取り組んでいる状況、住民の関心を高めるため、ボランティア活動やボランティア養成講座、体験型環境教育事業の実施などにより、地域を巻き込んだ幅広い取組みにより森林の多面的機能の回復と推進を図っていることなど、里山整備の本質的で、共通する問題の示唆を教わることができました。

引き続き、川井顧問の乾杯のご挨拶、内海さんの「乾杯の歌」とともに、全員で祝杯を挙げ、会食歓談がスタート。

祝賀会のもう一つの柱である「みんなで歌おう」で、会場は一転、大盛り上がり。

軽妙な内海さんの司会とリズムミカルなバンド演奏に乗って次々にリクエスト曲と、歌自慢会員のエンターテナーが



登場。エンディングとして、全員が会場いっぱいに手をつなぎ、「青い山脈」を大合唱して「楽しみ、学ぶ祝賀会」のお開きとなりました。



(鈴木末一)